

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉に出会うために	8	○詩の情景を想像しながら音読し、好きな言葉や表現を交流することができる。	○音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。	○目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	○詩の情景を想像し、情景に合わせた音読の工夫をすることができる。
1学びをひらく	11	○場面の展開に沿って変化する、登場人物の心情について話し合うことができる。	○比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。	○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	○物語を読み、考えたことなどを根拠を示して記録したり伝え合ったりできる。
2新しい視点で	12	○文章の内容をとらえ、筆者の説明のしかたについて話し合うことができる。 ○文章の要旨をとらえ、それをもとに考えたことを伝えることができる。	○指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。	○文章の中心的な部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。	○文章を読み、理解したことや考えたことをまとめることができる。
3言葉に立ち止まる	8	○詩を読み味わい、感じたことや考えたことを伝え合うことができる。 ○言葉の単位を理解できる。	○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ○言葉の単位を理解して、文章を適切なまとまりに分けることができる。	○根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	○学習した表現技法を用いて詩を創作することができる。
4心の動き	16	○描写に着目して読み深め、登場人物の思いが伝わるように表現することができる。 ○場面や描写を結び付けて読み、自分の解釈を語り合うことができる。	○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。	○場面や描写を読み取り、根拠を示して自分の解釈を表現することができる。
5筋道を立てて	14	○文章の構成や展開の効果を考え、根拠を明確にしてまとめることができる。 ○文節同士の関係を理解できる。	○原因と結果、意見と根拠など情報との関係について理解することができる。 ○単語の類別について理解できる。	○文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。	○記録の文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめることができる。
6いにしえの心にふれる	10	○作品を音読し、古典の世界を想像することができる。 ○故事成語について知り、自分の生活と結び付けて考えることができる。	○音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。	○根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだすことができる。	○根拠を明確にして考え、学習課題に沿って、自分の解釈を述べるすることができる。
7価値を見出す	7	○本文を要約して筆者の主張を捉え、自分の考えをまとめることができる。	○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。	○話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。	○互いの考えを伝えるなどして、少数で話し合うことができる。
8自分を見つめる	12	○別の人物の視点から作品を捉え、登場人物のものの見方を感ることができる。 ○筆者独自のものの見方・感じ方を捉え、随筆を読み味わうことができる。	○事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の動化を確かなものにすることができる。	○根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる工夫をすることができる。